



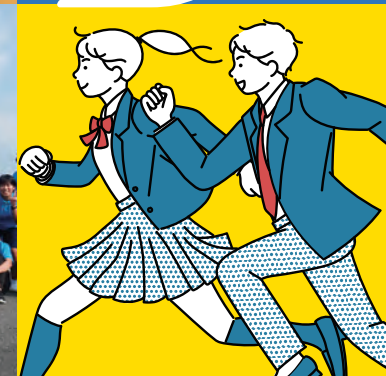
ECO Youth Yatsushiro
*Let's connect Yatsushiro
with the World!*



次世代のためにがんばる会



*Let's connect
Yatsushiro
with the World!*



**ECO
Youth
Yatsushiro
Report
2023**



エコユースやつしろ活動報告 2023



**ECO Youth
Yatsushiro**
エコユースやつしろ

次世代のためにがんばる会



球磨川河口の干潟再生といきものの保全を目指して

.....

私たちが住む八代市には、豊かな水環境が息づいています。この地を流れる球磨川は、一級河川としてその重要性を持ち、周辺の生活に欠かせない存在です。雨が降れば、その一部は球磨川の流れとなり、また一部は伏流水や地下水となります。八代平野部の多くは干拓地であり、生活用水は主に球磨川と地下水から供給されています。地域の人々にとって、井戸水をそのまま飲むことは「当たり前」の日常です。また、八代市の球磨川河口には、希少な干潟が広がっています。この干潟は、絶滅危惧種を含む多くの渡り鳥たちの休息地として、年々重要性を増しています。このような貴重な自然環境や水の歴史、そして地域の魅力を次世代に伝え、守っていくために、「エコユースやつしろ」という若者組織を2021年、当会傘下に発足させました。「エコユースやつしろ」では、年間を通じてさまざまな体験型プログラムを提供しています。例えば、水に関する専門家からの講義やフィールドトリップ、野外活動などが含まれます。この活動を通じて、若者たちは自然環境との関わりを深め、球磨川の大切さや水の重要性を五感で学びます。

在籍するメンバーは3年間の活動の中で地域の保護活動にも積極的に参加し、地域社会への貢献をしてきました。次年度からはさらに「球磨川河口の干潟再生：いきものの保全体験活動」の取り組みを通じて地域の水環境を保護し、その魅力を広く伝えることを目指していきます。大人(次世代のためにがんばろ会)会員も彼らの活動を支えながら、「故郷を知り、守る。繋ごう、次の世代へ」という理念を共有し、彼らが次世代に引き継いでくれることを期待しています。

次世代のためにがんばろ会 代表 松浦 ゆかり



〔応援メッセージ〕

地域は地球の一部、そのことを絶えず心に留め、地球を痛めつけないように生きる。まさに「Think globally, act locally」。これに、世界や地域の歴史を自分事として捉えなおす「社会学的想像力」。この、環境知と社会知という二つの知性をもつ生き方は、知的な人生を送るうえで必須の素養かと思えます。エコユースやつしろのみなさんが知的な人生のスタートを切っていることを心から祝福したいと思います。

ゆかりさんの弛まぬ頑張りに敬意を表します。

社会学者:次世代のためにがんばろ会顧問 白水 繁彦

八代のSDGsを 体験感動学習。 地域、世界へ 情報発信。

Let's connect Yatsushiro with the World!



エコユースやつしろ メンバー募集!



八代には、私たちに様々な恩恵を授けてくれる磨崖川が流れています。河口には生態系豊かな干潟が広がって、多くの渡り鳥が訪れます。エコユースやつしろは、水環境や干潟の幅広い知識を専門家から学び、「水」に関する環境保全意識を高めて世界に向けて発信する八代の高校生を募集します!!

募集概要

- ▶ 募集対象 / 大学生・高校生・中学生(保護者の承認ある人)
- ▶ 申し込みはメールのみ / kankyo@eco-yukarin.info (松浦)
- ▶ メンバーは全てのプログラムに参加できます(無料/一部有料)

説明会

4月15日(土) 14:00~15:30

会場 / 桜十字ホールやつしろ 会議室B

八代市新町5-20 TEL0965-53-0033

※入会説明のほか、講師講演と八代の地域講習会もあります。

入会式

4月22日(土) 14:00~15:30

会場 / 桜十字ホールやつしろ 会議室B

八代市新町5-20 TEL0965-53-0033

〈講師〉知花 武佳 准教授 (東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻河川/流域環境研究室)

「水」をキーワードに八代の環境問題を学ぶ体験型プログラム

Program 2023

- 4月15日 エコユース八代説明会:八代の地域学:川口顧問
- 4月22日 入会式・講演会(知花教授講演会:(東京大学))
- 5月20日 田んぼの生きもの調査・マイクロプラスチック検出
- 6月3日 干拓干潟調査・マイクロプラスチック検出
- 6月25日 八代海河川浜辺の大そうじ大会と干潟観察会
- 7/15-16日 長崎研修 長崎東高校交流・講演会(食事費が必要です)
- 8月6日 プロジェクトWET講座(資格取得のための登録料が必要です)
- 8月11日 食品添加物の講演会:森田教授(北九州市立大)
- 8月22日 不法投棄観察会
- 未定 知花教授講演会:(東京大学)
- 9月24日 水の歴史散策
- 10月7日 歩いて学ぶ防災マップ・マタイムラインWS
- 10月29日 青少年水サミット2023in八代
- 12月26日 市役所パネルセッション発表・パネル展示会

Program 2024

- 1月14日 午後に野鳥と干潟WS
- 2月 海外ユースと情報交換
- 2月 小冊子作成WS/編集
- 3月9日 成果発表・干潟シンポジウム

※スケジュール・内容は変更になる場合があります。時間、会場、定員、持参品などの詳細は事前に、次世代のためにがんばる会HP(<https://www.ganbarokai.net/>)でご確認ください。
※新型コロナ禍の状況により、各プログラムがオンラインに変更になる可能性があります。



主催 / 次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>
後援 / 国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
問い合わせ・申し込み/E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081(担当:松浦)

「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



河川基金 公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。



学校で勉強するだけでは身につけられない力を得られたと感じています。

エコユースやつしろ 2023メンバー募集

今年は初めて私達が主体となり説明会を行いました。メンバー全員が活躍できる場所を作り、エコユースの魅力を最大限に引き出すプレゼンテーションを作るよう心がけました。わかりやすいスライド作りや伝わりやすい話し方など、魅力的なパフォーマンスを目指しました。小規模ではあるものの、自分たちの手で企画・運営を経験できたことは、貴重な経験だったと思います。これは、エコユースやつしろというコミュニティに属していなければ経験できなかったことであり、学校で勉強するだけでは身につけられない力を得られたと感じています。

米田 彩乃



【アンケートより】

- 干潟の状況など気にしたことがなかったの
で、穴じゃこやハマグリの話の内容を広げて
いったときに、面白いなと思いました。
- 昨年度の活動報告を聞いて、八代のことをま
だまだ知らないなと実感しました。八代の環
境について深く学びたいと思いました。
- 講演会を聴いて、八代の干潟には不法投棄な
どの問題があることや、八の字堰が鮎の産
卵の場になることなど学ぶことができ八
代についての考え方が変わりました。
- 今回の講演を聞いて、自分もエコユースやつ
しろメンバーに入り、八代の環境を守ってい
きたいと強く思った。このようなボランティ
ア団体に入ったこともなく、まだ分からない
ことばかりだが、自分の環境に対しての知識
を深め、団体に入るところで、協調性の力を高
めたいと思った。
- 八代の魅力を今以上に知って、色々な人と交
流していきたいと思いました。



八代のSDGsを体験感動学習。地域、世界へ情報発信。



Let's connect Yatsushiro with the World!



ECO Youth Yatsushiro
エコユースやつしろ

エコユースやつしろ 2023発会式



4月22日(土) 14:00~16:00

会場/桜十字ホールやつしろ 3F研修室
八代市新町5-20 TEL0965-53-0033

エコユースやつしろのメンバーになった人、これからなり
たい人たちのために、説明会と発足式を行います。高校の仲
間たちと声をかけ合って、たくさん参加して、みんなで八代
の環境問題に取り組みましょう!!



〈プログラム〉

1. 開会あいさつ/松浦 ゆかり(次世代のためにがんばる会代表)
2. エコユースやつしろの説明/エコユース1・2期生
3. エコユースやつしろで学んだこと/エコユース1・2期生
4. 講演「すべての勉強は河川に通じる」
良い仲間と共に、知を総動員して日本の自然を理解し、
人と自然の調和を図ろう。
講師:知花 武佳(政策研究大学院大学 教授)
5. 質疑
6. 閉会のあいさつ/エコユース1・2期生

主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>

後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

問い合わせ・申し込み/E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081(担当:松浦)

〈プロフィール〉

知花 武佳(ちばな たけよし)

専門は河川工学。我が国に109ある一級河川本川はすべて車で行ける範囲の源
流から下流まで視察している。主に河川地形の特徴と形成過程について研究を
しつつ、河川流域における人のくらしや生業(なりわい)と河川の地理特性との
関係解明にも取り組んでいる。こうした研究活動に加え、小学生や高校生から一
般市民に向けた河川教育にも取り組んでいる。

- 昭和50(1975)年10月3日生まれ(満47歳)兵庫県出身
- 平成22(2010)年11月東京大学大学院工学系研究科 准教授
- 令和5(2023)年4月政策研究大学院大学 教授

(次世代のためにがんばる会)

「ECO Youth Yatsushiro」は、
河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



だんだん自信を持って
話せるようになったので、
エコユースで良かった。

エコユースやつしろ 2023発会式

エコユースの発足会では、2期生が中心と
なって、説明会を行いました。発足回で自分の
経験を話す機会をいただき、自分が頑張っ
てきたことやエコユースの魅力を伝えることが
できて良かったです。
前の年の説明会は自分が聞く側で、先輩方が
話されているのをすごいなと思いながら聞いて
いたので、エコユースで一年間、多くの人の
前で話す機会をたくさんいただき、だんだん
自信を持って話せるようになったので、エコ
ユースで活動していて良かったと思いました。

島田 和花



【アンケートより】

- エコユースやつしろは、八代の環境に関する
ことや魅力について、とても深く考えている
と思います。エコユースに入って、様々な活
動にふれて、八代の魅力や環境問題について
知ることができたら良いと思っています。
- 自分が力になれることをやっていきたい。仲
間と共に参加して、経験を積んでいきたいと
思いました。
- 八代の自然を生かした活動で世界へと活動の
輪を広げていけるように頑張りたいです。
- これからたくさんの活動に積極的に参加して
学校では学べないことを知れる良い機会にな
るようにしていきたいです。また、他校の人
との友好関係を築けるようにしたいです。
- 活動に参加して、八代の魅力を知ると同時に
周りに伝えていきたいなと思いました。これ
からどんどん頑張っていきます。



田んぼ

の生きもの調査 マイクロプラ検査用魚とり



日時 **5月20日** 土 13:00~14:30

集合 **イグサの田んぼ：八代市古閑下町2052**

- 参加費無料（小雨決行・大雨延期（HPでお知らせします））
- 〈要申込〉 E-mail:kankyo@eco-yukarin.info（松浦）

杉山さんの田んぼの生きもの（季節の生きもの色々）の紹介とマイクロプラスチックの検査のための魚とり

〈講師〉川口 芳人 氏（一般財団法人 河川情報センター福岡センター長）
〈講師〉高野 茂樹 氏（八代野鳥愛好会代表）

〈持参するもの〉

- 汚れても良い服装、シューズ、あれば長靴、地下足袋、軍手、タオル、簡単な着替え
- 注意：マスク着用。熱中症対策（飲料、帽子など）。



主催／次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>

後援／国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

問い合わせ・申し込み／E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081（担当：松浦）

▼会場のご案内（イグサ畑） 熊本県八代市古閑下町2052



「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます

河川基金 公益財団法人河川財団による
地球環境基金 河川基金の助成を受けています

地球環境基金
Japan Fund for Global Environment



たくさんの生きものを
発見することができて、
種類の多さに驚きました。

田んぼの生きもの調査 マイクロプラ検査用魚とり

実際に、網やバケツを使って生き物をとって観察をしました。数十分の採取でたくさんの生きものを発見することができて、種類の多さに驚きました。農家さんのお話を聞き、田んぼのまわりに現れる鳥や動物について学ぶことが出来ました。

八代市にはたくさんの田んぼがあります。田んぼのまわりで見ることが出来るすべての生きものが農作物にとっていい効果をもたらす訳ではありません。田んぼの生態について見て聞いて学べる良い機会になりました。

林田 南海



今回のお話で、田んぼの水を球磨川からひいているということを知り、改めて球磨川の偉大さを感じたとともに、おいしい作物の恵みに感謝しました。また、私が最も心に残ったことは、高野先生が話してくださった、野鳥による被害にばかり焦点を当てるのではなく、人間と鳥の共生を目指すことが重要だということです。野鳥は田んぼの虫を除去するなど人間にとって非常に有益な存在でもあります。そのため、鳥を排除するのではなく共生することこそが私たちが目指すべき世界なのだ学びました。そのような世界を実現するために、野鳥の飛来情報を調査し農家の皆さんに防鳥ネットを張るなどの対策を伝えている取り組みをされていることにも感銘を受けました。

米田 彩乃

※写真はイメージです

干潟観察会・ マイクロプラスチック検査

Tidal Flat Observation and Microplastic Survey

日 時： **6月3日** 土 13:00(現地集合)～15:00

集 合： 八代ヨットクラブ(八代市大島町4866-19)

参加費： 無料(小雨決行・大雨延期(HPでお知らせします))

要申込： E-mail:kankyo@eco-yukarin.info (松浦)

私たちがいつも使っているプラスチックは、生物が分解することができなくて、海の上を漂いながら、波や風、太陽の光で細くなってマイクロプラスチックになります。干潟やヨシ原にもたくさん堆積しています。魚など海の生き物たちがエサと間違えて食べて健康被害や死亡する事例が多く発生しています。前半はマイクロプラスチックの現状を調査し、後半は干潟の環境に応じて暮らす生き物たちの生物多様性を体感します。

講師／宮坂 均 氏 (崇城大学 生物生命学部・応用生命科学科 教授)
川口 芳人 氏 (一般財団法人 河川情報センター福岡センター長)
伊藤 教行 氏 (NPO 法人 RILa 代表/オンライン)

- オンライン講演「マイクロプラスチック検査と東京湾の状況について」 伊藤 教行 氏
- マイクロプラスチック検査 解説と検査指導 宮坂 均 氏
- 干拓地の造り方 模型説明 川口 芳人 氏
- 干潟観察会 川口 芳人 氏、丁畑 佐代 氏 (次世代のためにがんばる会)
- 感想発表 エコユースやつしるメンバー

持参するもの ●濡れても良い服装、長靴またはスニーカー、タオル、軍手、水筒、帽子など

主催／次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>
後援／国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
問い合わせ／E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081 (担当:松浦)

「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます

河川 公益財団法人河川財団による 基金 河川基金の助成を受けています。

地球環境基金 Japan Fund for Global Environment



※写真はイメージです



干潟にすむ生きものたちを
守っていきたくと
強く感じました。

干潟観察会・ マイクロプラスチック検査

マイクロプラスチック検査では、実際に自分たちがとった魚からマイクロプラスチックが検出されたので、身近な所でもこの問題が起こっているのかと驚きました。また、環境ホルモンの問題についてのお話も聞くことができ、将来のためにもプラスチックの容器などには気をつけたいと思いました。干潟観察会では、まず八代の干拓地がどうやってできたかを模型で学びました。昔の石工さんたちの素晴らしい技術を知ることができました。そして、実際に干潟に入ってみると、マテガイなどのいろんな生き物がありました。これらの干潟にすむ生き物たちを守っていきたくと強く感じました。

永井 絆夏



マイクロプラスチック調査では、小さい魚を溶かして魚の体内にあるマイクロプラスチックを顕微鏡で探した。肉眼では見えないほどのプラスチックでも食物連鎖で徐々に蓄積されて私たちの体内に入ることを考えると、自分で感じていたよりも身近な問題なのだ知った。プラスチックの話では、カップ麺の容器など食品のあらゆるところに使われているプラスチックの影響についても議論が盛り上がり、知識のない私でも意見交換の様子を見てるととても楽しかった。

干潟観察会では実際に干潟を歩きながら生物を採集したり、埋め立て地の仕組みを模型を使ってわかりやすく説明して下さったのも面白かった。

森永 聖那



SDGs

未来キャンプ in 長崎

世界的な課題であるSDGs。気候変動や環境問題に焦点を当て、環境活動を行うためのヒントやきっかけづくりや活動事例を紹介して、青少年にSDGsの重要性や取り組み方を伝えます。自分たちができることを考え、地域や社会に貢献する一歩を踏み出すきっかけとなることを目指します。

7月15日(土) 12:45~16:00

場所:長崎県庁1F協働エリア

SDGs14未来会議

司会:出水 享 (team長崎シー・クリーン&長崎大学)

《第1部》活動紹介

- ・team長崎シー・クリーン 出水 琉君
※第28回ココ・コーラ環境教育賞/最優秀賞
- ・エコ・ユースやつしろ
- ・長崎県内の高校生

《第2部》問題、アクション、きっかけ

「地域で活かす・行動する・繋がるSDGs」

- ・環境省九州地方環境事務所 大嶋 恭子氏
- ・環境事務所職員
- ・長崎県県民生活環境部
- ・長崎県環境部

《第3部》ワークショップ

コーディネーター 櫻本 英人 (team長崎シー・クリーン/長崎東高校)

- ▶ 宿泊者は日吉自然の家に移動
- 夕食後/環境ワークショップ

7月16日(日) 8:40~16:30

場所:長崎市高浜町

SDGs14フィールド体験

▶ 10:00~11:30

- ・チームA/軍艦島上陸
- ・チームB/軍艦島資料館、長崎市恐竜博物館
- ※人数制限があるため2チームに分かれて行動します。

▶ 11:40~13:10

- ・BBQ、漁師から新鮮な魚のふるまい

▶ 13:15~14:30

- ・ビーチクリーン・環境教育(阿保下海岸)

▶ 15:00~16:30

- ・チームB/軍艦島上陸
- ・チームA/軍艦島資料館、長崎市恐竜博物館

▶ 16:30 解散

《参加費用》

- 15日のみ/無料
- 16日のみ/¥6,000(軍艦島船費/3500円・昼食費など)
- 15日~16日/¥8,000(軍艦島船費/3500円・食事代4回など)

★バス代・保険・交通経費などは次世代のためにがんばろう会(助成金)より負担

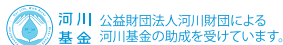


共催: team長崎シー・クリーン、次世代のためにがんばろう会 (<https://www.ganbarokai.net/>)
 後援: 国土交通省八代河川国道事務所・環境省九州地方環境事務所・長崎県・長崎市・八代市・八代市教育委員会
 連絡先/ team長崎シー・クリーン&長崎大学 (担当: 出水) TEL070-6596-4691
 次世代のためにがんばろう会(担当: 松浦) E-mail: kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081

〈次世代のためにがんばろう会〉



「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



環境活動している同年代が直接意見交換をすることの大切さを実感しました。

SDGs 未来キャンプ in 長崎

最初に県庁でゴミ問題についての活動報告を行った際に高校生や長崎シー・クリーンのみなさんの活動を聞いて私たちに出来ることはまだあると感じました。また、その後のワークショップでは私の班はゴミ問題に対する沢山の意見や解決策を沢山出すことができ、積極的に環境活動している同年代の方々と直接意見交換をする機会の大切さを実感しました。メインでもある海岸でのゴミ拾い活動ではとても美しい海の横で国内はもちろん海外のゴミも大量に流れ着いていてショックを受けました。他の県のボランティア団体と繋がることでもっとゴミを捨てない意識の輪を広げていくことができれば美しい自然を守れると思いました。

岡村 有莉



私がエコユースの活動に参加したのは、この長崎研修が初めてでした。初めてのことばかりで戸惑いも多かったのですが、がんばろう会の方々のサポートや現地の方々の優しさに触れて、楽しく活動を行うことが出来ました。特に、浜辺で生き物観察やゴミ拾いをした時は自分が今まで触れてこなかったジャンルの活動だったので様々な発見があり、また、環境問題についてより考えられるきっかけになりました。これからもエコユースの活動を通して、色々な人に環境問題について呼びかけていけたらいいと思います。

平田 かすみ

長崎キャンプに参加して、海ゴミ問題や長崎の海の生物など様々な事を知る事ができてとてもいい機会だと思いました。また、長崎県庁で行ったワークショップは長崎の高校生と交流ができてとても楽しかったです。軍艦島資料館や実際に船に乗って本物の軍艦島を見ることができ、貴重な経験になったと思いました。現地の方々が、パーベキューを用意してくださり、人の温かさを感じることができて良かったです。このような機会があったらぜひ参加したいと思います。

灰本 百花

Project WET エドゥケーター養成講座

プロジェクトWETは、プロジェクトWET指導者(エドゥケーター)の認定に関する事業として、国土交通省、環境省、文部科学省が推奨しています。

プロジェクトWETは、水に関する環境教育プログラムであり、教育関係者、行政職、一般市民に対して水の重要性や持続可能な水管理についての知識を提供します。この講座では、参加者がエドゥケーターとしてプロジェクトWETの教材やアクティビティを効果的に活用し、水教育の推進に貢献する能力を身につけることを目指します。この講座は、プロジェクトWET(Water Education Today/今日的課題)のエドゥケーター養成を目的としています。参加者は、講座修了後にエドゥケーター資格を取得することができます。



【講座内容】

- プロジェクトWETの概要と目標
- 持続可能な水管理に関する基礎知識
- エドゥケーターとしての役割とスキル
- プロジェクトWETの教材とアクティビティの活用方法
- 実践的なグループワークやディスカッション

【参加対象者】

- 教育関係者、水教育に関心のある行政職、一般の方
- 環境教育に興味や関心がある方
- 持続可能な水管理について学びたい方

【エドゥケーターの資格が得られます】

本講座受講後、エドゥケーター(一般指導者)の資格が得られます。エドゥケーター取得後、一定の経験を積み、ステップアップするとファシリテーター(上級・普及指導者)として一般指導者の資格を持ち、さらに他の一般指導者を養成することができます。※受講者が17歳の方は、現時点で受講可能ですが、18歳になった時点で資格が適応可能となります。

《プロジェクトWET講座》

- 講師: 菅原 一成 (プロジェクトWETジャパン)
- ファシリテーター 倉嶋 真司、吉竹 千保、松浦 ゆかり



日 時: **8月6日** 日 9:00~16:30

会 場: **桜十字ホールやつしろ** (八代市新町5-20 TEL0965-53-0033)

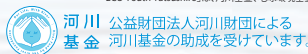
参加費: **一般参加 4,500円(ガイドブック・昼食費含む)**
学生・教員 3,500円(学生証・教員免許をご提示ください)

持参品: 筆記具、ノート、飲料など (要申込み: 定員20名)

主 催/次世代のためにがんばる会
<https://www.ganbarokai.net/>
申込み/E-mail: kankyo@eco-yukarin.info
TEL080-5253-5081 (担当: 松浦)



「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



このProject WETを通して学んだことは、主体的に学ぶことの大切さです。

Project WET エドゥケーター養成講座

私がこのProject WETを通して学んだことは、主体的に学ぶことの大切さです。最初この講座を受けようと思ったとき、「どんなことについて学べるのだろう」といったワクワクを感じていた一方、「普段環境について勉強していないけど大丈夫かな?」といった不安をいだいていました。しかし実際に参加してみると環境に対して学ぶ姿勢が強い方がとても多く、この講座を申し込んでよかったと感じました。また、この講座はアクティブ・ラーニング方であり自分で考え、意見を発表し、理解するといった3ステップをしっかりと行えたため、学びが深まったのはもちろんのことですが、周りとのコミュニケーション力も身につけ楽しく参加することができました。主体的に学ぶ姿勢によって新たな学びが広がるというのを身に染みて実感しました。

高野 真央



【アンケートより】

- 水に様々な姿があることを改めて感じることができました。また、伝えることの学びを通して、年齢やテーマ、ディスカッション、グループワークの仕方を学べて良かったです。
- グループで話し合いながら、水について学ぶことができ、すごく良い経験になりました。
- 水害などによって、浸水する高さがかかって良かったと思います。
- アクティビティを通して「水」や「植物」について知識を学べて良かった。
- 私たちの生活のさまざまな面において水との深い関わりがあり、水の大切さを改めて感じることができて、とても良い経験ができたと思いました。
- 長時間の講習でしたが、各プログラムが楽しくてあっという間に終わりました。大変楽しかったです。



食品添加物講演会 「食の安全について」

食の安全に於いて、食品の調理、加工、食器洗浄などすべてに関わる「水」の安全・安心と、現代の食品産業において広く使用されている「食品添加物」の安全・安心があります。今回は、その安全性に関して常に注目されている食品添加物について専門的な見解を提供するため、北九州市立大学の森田洋先生を講師に招きます。森田洋先生は食品科学に関する研究で高い評価を受けており、講演を通じて、食品添加物の利用と安全性についての理解を深めることが期待されます。

FOOD ADDITIVE

日時： **8月11日(金・祝)**
13:00~15:15

集合： **桜十字ホールやつしろ**
八代市新町5-20 TEL0965-53-0033

一般参加OKです／無料
定員100名

事前申し込み制で、定員に達した場合は、申し込みを締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

《要申し込み・問い合わせ》
E-mail: kankyo@eco-yukarin.info
TEL080-5253-5081 (担当:松浦)

《プログラム》
講演「食品添加物と食の安全」
講師: 森田 洋 (北九州市立大学 教授)
講演終了後、質疑応答



講師プロフィール
森田 洋
北九州市立大学 教授

1970年名古屋生まれ、奈良育ち。1999年九州大学大学院農学研究所博士課程修了、博士(農学)、八代高専(当時)生物工学科助手を経て、2001年より北九州市立大学国際環境工学部講師。2006年、同助教授(准教授)。2014年より同教授。立ち上げより、次世代のためにがんばる会の顧問を務め、室内環境学会理事、日本防衛防衛学会評議員、農林水産省地理的表示法区分別検討委員等も務める。ものづくり日本大賞特別賞(2012)、日本防衛防衛学会研究賞(2023)等受賞。



ECO Youth
Yatsushiro
エコユースやつしろ



主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



河川 公益財団法人河川財団による基金 河川基金の助成を受けています。



地球環境基金 Japan Fund for Global Environment



(次世代のためにがんばる会)



原材料や食品添加物を
しっかり見て健康に
気をつけて生活していこう。

食品添加物講演会 「食の安全について」

食品添加物講演会「食の安全について」では主に食品添加物について森田教授に教えていただきました。食品添加物とはなにか、気をつけるべきことはなにかなどについて教えていただきました。食品添加物についての知識が身につきました。たくさんの人が飲むジュースだったり子供用のお菓子などにも入っていることに驚きました。大人よりも乳幼児などの小さい子供が気をつけないといけないので、将来家庭を持つようになったら食品添加物の点からも安全性の高い食べ物を選ぶために、原材料や食品添加物をしっかり見て健康に気をつけて生活していこうと思いました。

前田 純希



自分の体を大事に 添加物のことも考えていく。

日頃、あまり意識することのなかった「添加物」。それが今回の講話を通して私たちの体にどのような影響があるのか知ることが出来ました。先生の講話は、具体的な商品をもとに分かりやすく、気さくな感じで説明してくださったので話を聞くのも楽しかったです。この講話がきっかけとなり、商品裏に書かれている添加物一覧に目を通すようになりました。自分の体を大事にしていく上で、添加物のことも考えていきたいと思えます。

山口 菜々子

SDGs

第19回
八代海

河川・浜辺の 大そうじ大会 & 浜辺の交流会



日時: **8月20日** (日) 14:45(現地集合)~17:00

▶15時開始(掃除・分別1時間)終了後、浜辺の交流会(17:00終了予定)

集合: 八代市鼠蔵町 球磨川右岸(第六中学校対岸/地図参照)
※駐車場が少ないので、出来る限り自転車での参加をお願いします。

▶14:45/現地集合 ▶15:00~15:45/海岸大そうじ(集合写真)
▶16:00~17:00/浜辺の交流会(希望者/あここの木付近の海岸)
・石切り大会 ・鼠蔵山散策学習会(50人限定) 講師:高野 茂樹 氏

要申込: E-mail kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081 (松浦)

参加費: 無料 (小雨決行・大雨延期の場合は7月2日(日)(HPでお知らせします))

わたしたちの球磨川をクリーンアップしよう!!

球磨川・八代海の沿岸において、漂着物ごみ拾いと分別を行い、環境保全に繋げ、ごみ問題や河川・海洋環境の保全の周知と将来の球磨川・八代海を守り、次の世代に引き継ぐ人材の育成を目指して開催します。また今回は、参加した青少年と官・学・民・産が、球磨川保全や、漁協関係・海の恵みへの理解のための交流会も行います。

持参するもの

- ※河川うさぎ、鼠蔵山散策は、ケガ防止のため長袖・長ズボン着用をお願いします。
- 汚れても良い服装、タオル、スニーカー(ビーチサンダル、クロックスは危険です)、軍手、トング。
- ゴミ回収袋は準備しています。熱中症対策(飲料、水筒、帽子など)。

保険について

全員に活動保険をかけますので、高校生は各担当の先生に申し込んでください。また、団体や企業参加は事務局の松浦 (E-mail: kankyo@eco-yukarin.info / TEL080-5253-5081) まで、6月19日定にお申し込みください。



主催/次世代のためにがんばろう会 <https://www.ganbarokai.net/>
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
問い合わせ/E-mail: kankyo@eco-yukarin.info
TEL080-5253-5081(担当:松浦)

ECO Youth Yatsushiroの活動は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます。



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



地球環境基金
Japan Aid for Global Environment



協力して一つのことを成し遂げ、達成感を感じることができました。

河川・浜辺の大そうじ大会 & 浜辺の交流会

大掃除大会と交流イベントの企画・運営を任せいただきました。オンライン打ち合わせを通してメンバーに役割を分担したり下見を行ったりして、入念に準備を進めました。一度延期になり開催できるか不安でしたが、たくさんの参加者に集まっていただきました。数百人の参加者に指示を通すことに苦労しましたが、スムーズに作業が進められるよう誘導をテキパキと行うだけでなく、体調不良者を介抱し無事にイベントを終えられました。協力して一つのことを成し遂げ、達成感を感じると共にイベント経営のスキルを向上させることができました。

米田 彩乃



経験豊富な方々の元で 運営のノウハウなども 学ぶことができました。

大そうじ大会では、企画・運営に携わりました。私がこの経験を通して感じたのは、運営側の大変さです。当日の大人数を動かすのはもちろん大変でしたが、それ以外でも、何度も話し合いを重ねて大会の構想を練ったり、下見に行ったりと、準備が大変でした。松浦さんはじめ次世代のために頑張る会の方々がいっぱいおこなっていらっしゃる運営の陰の大変さを自分が実際に経験することで実感しました。また、経験豊富な方々の元で運営をさせていただいたことで、運営のノウハウなども学ぶことができました。

島田 和花

令和
2年7月

豪雨災害から学ぶ将来の球磨川 水防災歴史見学会

日時：9月24日(日) 9:00(集合)~16:00

集合：桜十字ホールやつしろ 八代市新町5-20 TEL0965-53-0033

▶バスで球磨川沿いのポイントを巡ります。〈参加費：1,000円／定員15名〉

photo:球磨川氾濫で流出した後の球磨川第一橋梁

球磨川を辿りながら、「令和2年7月豪雨災害」の現地を訪れ、肥薩線の歴史と現状、住宅の浸水・破壊、支流の流木被害などを視察、体感します。そして、球磨川の水防災の歴史遺産を学び、これからの復興と流域治水を考えます。

【講師】

- 向田 清峻 氏
九州地方整備局八代河川国道事務所
流域治水課長
- 磯田 節子 氏
熊本高専八代キャンパス元教授

歩く場所もあるので、動きやすい服装と、飲料水、帽子などの熱中症対策もお願いします。

【要申込み】E-mai (担当:松浦)
kankyo@eco-yukarin.info



【コース予定】

- 09:10 桜十字ホール八代発
- ↓
- 09:40 坂本駅着
- 10:00 坂本駅発
- ↓
- 10:30 神瀬着
- 10:40 神瀬発
- ↓
- 10:50 一勝地着
- ※磯田先生よりお話し
- 一勝地発
- ↓
- 11:20 渡着
- 12:00 渡発
- ↓
- 12:20 HASSENBA着
- 〈昼食〉
- HASSENBA発
- ↓
- 13:30 中川原公園着
- 13:50 中川原公園発
- ↓
- 14:00 青井阿蘇神社着
- 15:00 青井阿蘇神社発
- ↓
- 16:00 桜十字ホール着

主催/次世代のためにがんばる会
<https://www.ganbarokai.net/>

後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

問い合わせ/E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081(担当:松浦)

「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



建物と大切な命と思い出までが流される水害。防災について深く考える時間でした。

水防災歴史見学会

私の祖父母が坂本に住んでいるので令和2年7月豪雨の被害状況について知りたいと思い、参加しました。現場で見たものは悲惨なものでした。坂本駅は建物がほとんど浸かっていて、水がどの辺りまで来たのか見て分かりました。また、線路は土砂で埋まっていた。完全に復興するのに沢山の時間とお金がかかるのだろうと目で見て分かるほどでした。被害に遭われた方たちは凄く怖い思いをされたと思います。災害が起こる前に出来ることはないか、また、被害に遭った際どのように行動すれば良いか、家族や友人と話す機会が出来れば良いと思いました。防災について深く考えることができる時間でした。

小瀧 花音



水害の被害に遭われた方々の話を聞いて、大切な人の命、大事にしていた物、思い出が水害によって流されたということが改めて水害は恐ろしいと感じました。

古閑山 大輝

私は、令和2年7月豪雨で起きた被害状況について、実際に被害に遭われた方からお話を聞きました。建物やものと一緒に思い出まで失ってしまったという言葉聞いて、今過ごしている日常が当たり前ではないと気付かされました。

林 香凜





やつしろを体験、感動、学び、そして情報発信!!

Let's connect Yatsushiro with the World!



第4回 アジア太平洋水サミット

2022年4月に熊本城ホールで開催された、アジア太平洋水サミットでパネルセッションや講演会に参加



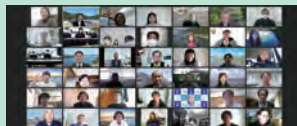
大島干潟観察会

干潟のカニ類や貝類などを調べて、多様な環境に適応している「干潟の生物多様性」を体感した。



海外とのオンライン交流

オーストラリアの専門家から干潟の学習をしたり、ユースとのオンライン交流を実施



マイクロプラスチック検査

大島干潟で、魚類などの生物の消化管からマイクロプラスチックを検査。



不法投棄視察会

球磨川の河口には不法に捨てられているゴミが多くあり、エコユースはゴミのチェックと撤去を行っている



パネルセッションやFMやつしろで活動発表

八代市役所ロビーでパネル展示や、FMやつしろで活動発表



第19回八代海 河川・浜辺の大そうじ大会&浜辺の交流会

わたしたちの球磨川をクリーンアップしよう!! 八代市鼠崎町 球磨川右岸 毎年600~700人の高校生たちで球磨川河口のそうじをしています。



エコユースやつしろの主な活動(2022年度)

- アジア太平洋水サミット
- エコユース八代説明会
- マイクロプラスチック調査・水質調査(球磨川)
- 田んぼのいきもの調査
- マイクロプラスチック検査・干潟観察会
- 八代海河川浜辺の大そうじ大会と野鳥観察会
- 宮崎水防災キャンプ
- プロジェクトWET講座
- 微生物ワークショップ
- いい川づくりで体験発表
- 水の歴史散策学習会
- エコイベントフェスタ
- 青少年水サミット2022in八代
- 九州河川協団体連絡会議IRODORI 体験活動発表
- バードウォッチングと生きものワークショップ
- 八代市役所パネルセッション発表
- 水防災フェスタ
- 八代市SDGs未来都市シンポジウム
- 球磨川河口わかめプロジェクト講演会
- 講演会&成果発表
- 九州大学うみつなぎシンポジウム
- SDGs甲子園2次予選参加
- 野鳥と干潟WS・エコユース八代・外国コース
- FMやつしろで活動発表

主催/次世代のためにがんばる会
<https://www.ganbarokai.net/>



アマモサミットで得た
アイデアを八代の環境保全に
活かしていきたい。

全国アマモサミット2023 in ぶくおか

アマモサミットに参加したことで、海をきれいに
するアマモの役割について初めて知ることが
できました。また、アマモを繁殖させ、守るた
めの全国の高校生の取り組みも学ぶことが出
来たので、とてもいい経験になったと思いま
した。特に印象に残っているのは、アマモを活用
した商品を高校生が開発していたことです。こ
の他にもアマモについての面白い取り組みが
たくさんあり、アマモへの関心を高めることが
できました。
アマモサミットに参加した高校生同士で交流
したり、アマモを繁殖させる活動を一緒に行っ
たりできて楽しかったので、自分でもアマモの
ことをもっと調べてみたいと思いました。

永井 絆夏



私はアマモサミットに参加して、改めて海辺の
自然再生をはじめとする環境問題について考
えることができたと思います。高校生サミット
では、全国各地で行われているアマモ場など
の海辺を再生していくための研究や取り組みを
多く学びました。研究の仕方や内容が高校生が
やっているとは思えないほど専門的で、同じ高
校生として衝撃的で感銘を受けました。また、
自分たちの発表ではとても緊張しましたが、こ
れまでのエコユースやつしろの活動と成果を多
くの人に紹介できたことは、これからの活動の
発展につながる良い機会になったと思います。
アマモサミットで得たアイデアを八代の環境
保全も活かしていけるようこれからも取り組
んでいきたいです。

田村 彩音



高校生SDGs サミット2023 in やつしろ

「SDGsを次に繋げるためのアクション」

本サミットでは、SDGsが目指す持続可能な社会づくりが高校生たちにとって「じぶんごと」であることを話します。持続可能なエネルギー・資源利用のありかたや、環境に配慮した食と生活スタイルの考え方、安全で誰もが元気になるまちづくりのポイント、みんなで環境保全活動に関わる意義などを深く理解し、参加する高校生たちが持続可能な社会を築くリーダーとして、「こうあったらいい」という社会に向けての「アクション」を起こす意識を高めます。

日時：**11月5日** 日 9:30~13:45

会場：八代市役所 多目的ホール
八代市松江城町1-25 TEL0965-33-4111

●参加対象者／高校生、中学生 ●先着100名(要申し込み) ●参加無料

〈プログラム〉

開会あいさつ 環境省九州地方環境事務所長

[1部] 高校生発表 長崎チーム・八代 チーム (1部・2部) コーディネーター：出水 享 氏(長崎大学)

[2部] パネルディスカッション 環境省・国土交通省・農林水産省・八代市

[3部] 高校生グループワークショップ/グループ全員登壇発表

(3部) コーディネーター：櫻本 英人 氏(長崎東高校)、サポート：専門家

講評：国土交通省八代河川国道事務所長

開会あいさつ：宮瀬 美津子 氏(熊本大学)

新プロジェクト予告：信吉(イラストレーター、漫画家)



八代市の未来はみんなの手で
<https://www.ganbarokai.net/>

共催／次世代のためにがんばる会、team長崎シー・クリーン

後援／農林水産省九州農政局、環境省九州地方環境事務所、

国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所、長崎県、長崎市、八代市、八代市教育委員会

(申し込み) E-mail:kankyo@eco-yukarin.info
問い合わせ) TEL080-5253-5081(担当:松浦)

ECO Youth Yatsushiroの活動は、
河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エコユースのメンバーや
他校の高校生と意見を
活発に出し合いました。

高校生SDGsサミット 2023 in やつしろ

今回のSDGsサミットでは、講師の方々のお話を聞き、身近なところにも影響が表れていることを知りました。ディスカッションの時間では、土木について話し合いをしました。土木は、環境に悪影響があるというイメージがありますが、実際は、脱炭素な地域づくりを支えています。このイメージをどのように変えるか楽しく考えることができました。正直、土木について興味になかったけれど土木について知れた良い機会になりました。

木下 奈津美



環境省、農林水産省、国土交通省の中で、私は環境省のグループとしてまずは自分の住んでいる地域を汚さないために「ごみを捨てない」という身近な取り組みから始めて環境を守っていかうと改めて思うことができました。

久保田 彩夏

私は、班長として参加した第3部のワークショップが最も印象に残っています。今まで関わったことのないエコユースのメンバーや他校の高校生と意見を活発に出し合い、発表することができたのは、班長として大きな達成感がありました。また、このような機会であればお話を伺うことのできない専門家の方に多くのアドバイスをいただくことができました。1日を通して、貴重な体験ができ、参加して良かったと思います。

瀬高 望



干潟と渡り鳥とユース交流

Tidal flats, Birds and Youth

有明海の干潟でラムサール登録地の「東よか干潟」と「荒尾干潟」をバスで巡るエコバス学習ツアーです。

それぞれの干潟の生物や施設、活動などを体感しながら、八代の干潟の特徴や素晴らしさを再認識できる学びの交流です。

干潟の未来を語り合う高校生たち大集合!!

日時: **12月16日(土)**
7:20(集合)~17:50

集合: **桜十字ホールやつしろ(駐車場)**
八代市新町5-20 TEL0965-53-0033

▶参加費:600円(昼食費)/定員20名 ▶申込み締切り:12月9日
▶問い合わせ・申込み/E-mail:kankyo@eco-yukarin.info
TEL080-5253-5081(担当:松浦)

講師 **清野 聡子**
九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 准教授
高野 茂樹
八代野鳥愛好会 代表

主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>
共催/九州大学うみつなぎ
後援/国土交通省八代河川国道事務所、
八代市、八代市教育委員会、
熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

「ECO Youth Yatsushiro」は、
河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



- 〈スケジュール〉
- 07:40 桜十字ホールやつしろ 出発
 - 09:30 荒尾干潟水鳥・湿地センター 到着
 - 10:00 5グループで干潟と施設の見学
※雨天時は座学
 - 11:40 食事と休憩(屋外)
 - 12:40 荒尾干潟水鳥・湿地センター 出発
 - 13:40 東よか干潟ビジターセンター
「ひがさす」到着
 - 14:00 3グループで干潟と施設の見学
 - 16:00 東よか干潟ビジターセンター
「ひがさす」出発
 - 18:00 桜十字ホールやつしろ 到着

〈持参するもの〉
長くつか濡れてもいい運動靴、水筒、帽子、タオル、筆記用具、など



干潟は多くの生物達にとって
憩いの場であると同時に、
人間にとって生活の場である。

干潟と渡り鳥と ユース交流

渡り鳥にとっての特別な食事の場であること
や独特な生態系が作られていることなど興味
深いお話を聞き、生物にとっての干潟の大切さ
について学びました。

実際、干潟の観察に赴いた際には様々な生物を
見ることができ、その豊かさに驚きました。普
段何気なく眺めている干潟がこれほど多くの
生物達にとって憩いの場であると同時に、人間
にとっても生活の場であることを知り、次世代
に繋げることの重要性を理解しました。とても
興味深い体験でした。

福山 実朋



都市開発が進む前と後で、
干潟の環境が
大きく変化してしまった。

初めての活動だったので少しの緊張もありま
したが、荒尾や東与賀では興味深いお話をいく
つも聞くことができ、楽しかったです。なか
でも、都市開発が進む前と後で、干潟の環境が
大きく変化してしまい、そこに棲んでいる生物
の種や数にも大きな変化が起きたというお話
を聞き、このような事象は授業では習うけれ
ど、実際に体感できる機会が少ないので、とて
も興味深く感じました。
今回のような視点をこれからも忘れずに活動
していきたいと思います。

濱田 優雅



SDGsの日

この体験を通して、SDGsの理念が多くの市民に広まったら良いな。

この活動に参加したことで、SDGsへの理解が以前よりも深まりました。私はステージに登壇し、エコユースとしての活動発表を行いました。発表準備の際に、各活動を振り返ったことで、自分が学んだことを再確認する機会になりました。本番は緊張しましたが、無事に発表を終えることができ良かったです。また、他団体の活動発表も聞けたので、勉強になりました。

この体験を通して、SDGsの理念が多くの市民の方々に広まったら良いなと思いました。

春野 薫子



今回の取り組みで情報発信の大切さを感じました。私たちは普段環境について活動をしているので知っていますが、他の方々は知らないことの方が多いと実感しました。私たちの取り組みを今回のイベントを通して周りの方々に伝えることができたのはとても良かったです。このような機会を通して私たちの取り組みについて伝えていき少しでも環境について知ってもらえると嬉しいです。

森 謙心



新宮高校との 交流観察とWS

生き物の観察は昔から大好きで、この活動はとても魅力的でした。

生き物の観察は昔から大好きで、この活動はとても魅力的で、八代の干潟へ行く機会はないかなかならうと思ってこの活動に参加しました。八代の環境のために様々な活動を行ってこられた方々の講義を聞くことができたこと、普通ではできない、福岡の高校の皆さんとも意見の交換ができ、自分の知識を深める良い機会にできたと思います。

これからも、自分の好きなこと、知識を深めることにたくさん挑戦していきたいです。

濱田 優



生き物調査では球磨川河口の野鳥や干潟にいる生き物についての観察やその生き物の特徴を知ることが出来ました。例えば絶滅危惧種のハクセンシオマネキも観察ができ、とても楽しかったです。また他県の高校生との交流で八代との違いなどを聞き、八代の良さに改めて気づくことができました。今まで見たことない生き物も観察でき、観察のやり方や注意点も学ぶことが出来てとても良い学びになりました。

日隈 志保





調べよう。 生きもの。 湿地の再生。

地域を超えて広がる未来の波
SDGsユースによる海洋保全プロジェクト

「地域を超えて広がる未来の波／SDGsユースによる海洋保全プロジェクト」の目的は、エコユースや市民が八代海及び球磨川の環境の現状を学び、地域の未来について対話し、干潟の保全活動を通して、地域の海、川のみならず環境保全意識の向上につながることを目指します。

《概要》

過去の治水対策などで、球磨川河口の干潟が減少し、ヨシ原が消失しましたが、八代河川国道事務所は10年前から、掘削土砂の有効活用を試み、干潟及びヨシ原再生に向けた取り組みが進められています。その経過として、塩生植物が増えて、多様な生物の生息環境が整いつつあります。

《これからの取り組み》

「SDGs海洋プロジェクト」では、九州地方整備局八代河川国道事務所の協力を得て、地元の高校生や地域のコミュニティ、市民参加で、生物調査や観察会を実施して、さらなる環境再生活動とSDGsの啓発に取り組みます。

そしてこの再生エリアが地域の多くの人々が環境教育の場として、憩いの場として活用されることが目標です。

生きもの調査員募集中!!

エコユースやつしる&エコ市民調査員

八代海・球磨川河口の環境を守りたい高校生や市民で、年間を通して干潟の生物調査を手伝っていただける方を募集しています。親子参加も大歓迎です!! 毎回、専門家がわかりやすく指導します。生きものや環境に関心のある方は、気軽にご参加ください。

問い合わせ・申し込み: TEL080-5253-5081 (担当: 松浦)
E-mail: kankyo@eco-yukarin.info

こんな調査をします

干潟を代表するような環境を持つ場所エリアを複数定め、数名のグループによる調査メンバーを構成し、無理のない調査を実施します。調査は目視による調査とコドラート調査の2つの方法で行います。目視調査では、干潟表面や転石・漂着物の下や間隙も調査します。コドラート調査は、決められた場所、同じ回数で掘り返して、海水を使って泥を振るって金網に残った生物を探します。固着生物や捕獲できなかった生物は、特徴を記録します。



「次世代のためにがんばる会」のホームページで確認ください。
<https://www.ganbarokai.net/>



2024.2.24
第1回 生きもの調査

みんなで生きものの特徴を
発見したり、報告するのは
とても楽しかった。

初めに自分のいきものに対する関心度合いを聞かれ、考えてみたところ、犬や猫などの動物への関心はある方ですが、昆虫や甲殻類などへの関心はあまりありませんでした。しかし、今回の活動の中で自分たちが住んでいる地域にはこんな生きものがいて、それは珍しい生きもので、こんな特徴があるなどといった発見をしながらみんなで観察し、報告し合うのはとても楽しいものだなと感じました。生きものへの関心も前より高まったと思います。引き続きみんなで調査をしていきたいです。

立杉 優海





Atsuki Uemura



私が3年間のエコユースやつしろの活動を通して学んだことは、まず初めに、八代にこんなに素晴らしい自然があるんだということです。八代の自然環境の素晴らしさは元々感じていたのですが、エコユースやつしろで観察会や講演会を聞くだけでなく、意見の発表や交流などの主体的な活動を通して、八代の自然について学んでいくと、よりその素晴らしさに気づくことが出来ました。なぜ八代の干潟が凄くて、何がどれほど凄いかという、人の話を聞くだけでは知ることができない学びに出会うことが出来ました。また、多くの原稿作成や発表の機会などを通して、伝えたいことを的確に伝える力も身につけることができました。自然に沢山触れ、学ぶことが出来るだけでなくリフレッシュもできるいい経験になりました。

上村 蒼月 1期生/高校3年生

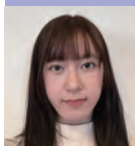
Honoka Yoshikawa



エコユースやつしろの活動に参加して、学んだことや得たものがたくさんありました。その中でも特に、私はプレゼンテーションをする力が伸びたと思っています。エコユースやつしろでは、アジア太平洋水サミットをはじめ、自分が学んだことや考えたことを発表する機会がたくさんありました。最初はなかなか上手くいかず、難しいと感じることもたくさんありました。ですが、プレゼンを重ねていく中で、自信を持って人前に立てるようになりました。この力は将来でも活かすことができると思います。このように、エコユースやつしろでは、学校では体験できないさまざまなことを経験することができます。私自身、この3年間を振り返ってみて、エコユースやつしろに参加してよかったと心から思っています。

吉川 穂乃花 1期生/高校3年生

Rina Hirata



エコユースやつしろでは、自分が生まれ育った八代のより深いところを知ることができたと思います。私は正直八代市内では通学路やよく行く飲食店などにしか行かず、八代の自然について知ることは小学校の授業くらいしかありませんでした。エコユースやつしろに加入してからは、今まで行ったことが無かった場所に足を運んで学習する機会が格段に増え、日頃目にするものが実は干拓の遺構であったこと、球磨川の重要性、干潟の生き物のことなどの沢山の事を知ることが出来ました。この経験は八代に対する理解度や愛着を増やし、自分の進路につながるきっかけにもなったと思います。

平田 莉奈 1期生/高校3年生

Ami Morishita



私は、アジア太平洋水サミットin熊本や海外の環境ボランティア団体との交流など、エコユースやつしろの様々な活動に参加してきました。エコユースやつしろでは身の回りの環境問題を知るだけでなく、自分たちがどのような行動をしたら問題解決に繋がるのかを考え活動しました。また、高校生自らが主体となって活動することで、イベントを運営することの難しさや環境問題の深刻さを実感しました。私はエコユースやつしろでの3年間の活動を通して、ここでしか出来ない経験と仲間との沢山の思い出ができました。エコユースやつしろの一員になり、活動することができて本当に良かったです。

森下 愛弓 1期生/大学1年生

Yasuaki Maruno



エコユースやつしろの活動を通して、八代の見え方が変わりました。となりの芝は青く見えるということわざがあるように、エコユースやつしろに入る前の自分は八代よりも他の県や市町村に魅力を感じる事がほとんどでした。しかし、エコユースやつしろの活動を通して、八代を知ること、水の豊かさや、住みやすさなど、他より八代を魅力的だと感じる事が多くなりました。私は今長崎に住んでいるのですが、八代だったらこうなのにと、他を知ること、八代の良さを実感することもありました。今後更に八代の魅力を知れることが楽しみです。

丸野 靖礼 1期生/大学1年生

Nanami Hashimoto



私はエコユースやつしろの活動に参加して、印象に残っている活動が主に二つあります。1つ目はアジア・太平洋水サミットです。サミットに参加する事や、英語での発表など初めての事尽くしですごく不安でした。ですが、松浦さん方を始め、多くの方々が協力して下さい2日間の発表をやり遂げる事が出来ました。また、有名企業も参加しており、どのような形で環境問題に取り組んでいるのかを学ぶ事も出来ました。2つ目はマイクロプラスチック調査です。よくニュースに取り上げられている問題ですが、身近でも起っている事を目で見て知る機会になりました。エコユースでは八代、環境に関して知れるだけでなく、他校生と関わり、発表するなど学校内では出来ない経験を積み事が出来ます。皆さんも少しでも興味があれば参加してみてください。

橋本 七海 1期生/大学1年生

Moeka Matsumoto



エコユースやつしろに入会し得たものは沢山あります。まずは、地元八代の魅力を体感できたことです。入会したところ、八代の魅力を思い浮かべた時、あまり思い浮かばなかったのが現実でした。しかし、今では絶滅危惧種に指定されているクロツラヘラサギ等が飛来する干潟や歴史ある樋門など多くの魅力が思い浮かび、説明できるようになるまでエコユースやつしろでの活動を通して学びました。次に、志しある仲間が出来たことです。勿論、エコユースやつしろに入会するのは強制ではないので、自ら入会したい意思を持った方が集まっています。そこで出来た友達は、多様な考えを持っておりお互いに成長し合える存在です。最後に私は、エコユースやつしろに入会したことは人生において1つのターニングポイントであるとも思っています。多様な考え方を身につけてさせてくれ、自分の意見を伝える力を養う多くの経験をさせて下さった次世代のためにがんばろ会のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

松本 萌花 1期生/大学1年生



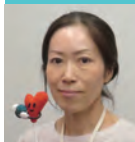
Yasunobu Tawaki



エコユースやつしろの皆さんへ、
私は皆さんに土木と脱炭素まちづくりについて考えて頂きました。
この地球を守るために皆さんの八代での活動は、計り知れない価値があります。ひとりの力は小さなものですが、皆さんの想いは多くの人々に影響を与え、同じ目標に向かって進む力となります。地域社会にポジティブな影響を与え、他の人々を動かすきっかけとなるでしょう。
皆さんから寄せられる言葉を聞いて、未来の八代、日本、地球は大丈夫だと感じました。心からの感謝を込めて「ありがとう」

田脇 康信 国土交通省九州地方整備局 企画部建設専門官

Keiko Oshima



2021年の発足当初よりエコユースやつしろの活動を助成事業として支援させていただき、3年が経ちました。その間、活動の幅や範囲が大きく拡大し、今年度からは運営にも携わるなど活動への皆さんの関わり方もどんどん広がっていること、本当に頼もしいなと思ひながら拝見しています。
持続可能な地域づくりの主役は皆さんです。地域や環境について幅広い理解を深め、愛着を持ち、環境課題の解決に対して自ら考え主体的に行動し、地域や環境に対する同じ想いを持った同年代の仲間、そして、皆さんの活動を支える大人たちをはじめ、多様で多世代の方々と一緒に地域の環境保全活動の環をこれからも広げていっていただけることと期待しています。
八代から世界へ。次世代を担う皆さんの、益々のご活躍を楽しみにしています。

大島 圭子 (博士/国際協力学)
独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部地球環境基金課 副主任

Kiyotaka Mukaida



「エコユースやつしろ」が八代から日本・世界を変える！
令和4年度から八代の事務所に来て、松浦さんからお声がけいただき「次世代のためにがんばる会」と「エコユースやつしろ」の活動に何度も参加させていただいています。
河川・浜辺の大そうじ大会、干潟・野鳥観察会など色々な活動に参加する中で、高校生一人一人が知識を蓄え、時にリーダーシップを発揮するなど成長する姿が印象的です。
当方が講師を担当させていただいた球磨川流域の見学会についても積極的に質問し、初めて見る光景に目を輝かせていたのを鮮烈に覚えています。
世界水フォーラムを契機に、海外や他の地域の高校生とも積極的に関わりを持って学びを深めていると聞いておりますので、今後の活躍を非常に楽しみにしています！

向田 清峻 八代河川国道事務所 流域治水課長

Hitoshi Miyasaka



私は八代とは縁もゆかりもない人間ですが、これまでにエコユースやつしろの皆さんとの活動の中で、球磨川河口干潟を始めとする八代の自然の魅力、干拓や石工の歴史とそれに関わる先人の努力をたくさん学ぶことができ、こうした八代を故郷にもつ皆さんを羨ましく思いました。現在、熊本県の県北地域は台湾の半導体メーカーTSMCの進出のおかげで非常に活気付いていますが、八代を中心とする県南地域もそれに負けてはいられません。みんなで知恵を絞ってさらに魅力的な八代になるように頑張ります。及ばずながら私も頑張ります。

宮坂 均 崇城大学生物生命学部教授 次世代のためにがんばる会 会員

Mitsuko Miyase



エコユースやつしろの皆さん、2023年度の活動はいかがでしたか？ 生きもの調査や長崎研修、SDGsサミットや観察会など盛り沢山の企画があり、参加するたびに多くの学びがあったのではないのでしょうか。また、次世代のためにがんばる会のメンバーや地域の方々、行政や専門家の方々、他県の高校生などとの貴重な出会いもあったことと思います。これらの経験を通じて、皆さんは持続可能な社会の担い手として大きく成長されたと確信しています。
これからも、エコユース八代の活動に大いに期待しています！

宮瀬 美津子 熊本大学大学院教育学研究科教授 次世代のためにがんばる会 会員

Shigeki Takano



エコユースやつしろの皆さんの活動には、野鳥を通じた干潟生態系の学習を通して参加させていただきました。
球磨川河口や前川河口でのシギ・チドリ類やクロツラヘラサギを中心とした野鳥の観察が主でした。皆さんが、活動を通して干潟はタカ類、サギ類、カモ類、カモメ類などその他のいろいろな野鳥たちの生息場所でもあり、干潟に生息するエビ・カニ類や底生生物が鳥たちの生活を支えており、干潟の生物にとっては水環境が大切であると思いを馳せていかれることを目の当たりにすることができました。今、活動の場は球磨川河口干潟に留まらず、荒尾干潟、佐賀県東与賀干潟に広がり、他県の高校生のみなさんとこの活動へと発展しています。ユースの皆さんに持っておられるエネルギーに驚いています。さらに、YEW(湿地の保全、保護、ワイズユースを目指す活動を続けている国際的ユースグループ)とのリモートミーティングも回を重ね、積極的な取り組みも始まろうとしています。まさに、「Think Globally, Act Locally」から「Think Globally, Act Locally and Globally」への活動の一步を踏み出そうとされていることを喜んでます。同時に、活動を続けていくことの大切さも感じています。これからも意欲的に活動を続けていかれることを応援しつつ、いっしょに活動できることを願っています。

高野 茂樹 八代野鳥愛好会 会長

発足活動内容（下記各活動を毎年開催）

【1】八代海・河川関係活動

青少年に八代海・球磨川河口の干潟の保全を意識づけるために、年間を通じ、様々な保全体験活動や学びの場を設定している。取り組みは、地域や教育現場、専門家、漁協組合などを巻き込んで実施している。

第1弾企画 「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」開催 （令和5年度で19回目の開催）

令和元年度は、市内の7校の高校生をメインに、企業・一般市民も合わせ約700人の参加。実施前後のアンケート調査で現状と、理解・意識の変化を見ることで、行動改善を図る企画。



第2弾企画 「こどもごみパトロール隊」開催 （令和5年度で18回：途中2回開催も有）

小学校の授業時間を利用し、八代市内のゴミが流れ着く排水機場と水の浄化の現場を見学し、河川敷のごみの現状を調査、実際に拾い集めたごみを八代市のゴミ分別基準に沿って分別する体験も行い、ごみ問題を五感で感じる企画。平成20年より開始。



第3弾企画 「河川・海岸の不法投棄写真撮影会」開催

これまで様々な賞を受賞している八代白百合学園高校写真部や崇城大学生・こどもエコクラブと共に河川・海岸の不法投棄の現状を撮影し、そうした状況を撮影したことで、感じたことを写真と合わせて伝えることで、地域住民への啓発・問題提起とする企画。



第4弾企画 防災教育の推進

八代市立小学校を対象に、水防災について、体験型授業を開催。1年から6年生までの間に、基本柱を体験することで、災害に対する自助ができることを目指すもの。また、専門家を招聘して防災講演会を開催。



【2】青少年・子ども育成活動

受け身の学習だけではなく、身近な環境での清掃活動な体験学習の他、経験したことや考えたことをアウトプットする発表機会や教材作成など、青少年が主体的に取り組むことができる活動を継続実施している。

第5弾企画 「こどもエコクラブ」の指導

毎年水質検査を行う。身近な河川の上・中・下流の違いを実際の河川に連れていき、調査（透視度・COD・水生生物）させ、同じ河川の違いを五感で感じる企画。



第6弾企画 環境教材の作成・贈呈

親子図書館講座「ふるさとエコかるた・ふるさと子どもくらし図鑑・ふるさとエコかるた、希少生物かるた。また、毎年環境保全の小冊子などの教材作成、教育委員会に贈呈。

児童向けの「親子干潟のいきもの学習会」や小学生や高校生の句を元にして作成した、「ふるさとエコかるた」、地域の年功者にヒアリングを重ねて作成した「ふるさと子どもくらし図鑑」「球磨川河口に棲むいきもの冊子」など、青少年の学習の成果を教材に反映し、例年、市役所・教育関係各所に贈呈し、教材として活用されている。



第7弾企画 ごみ問題の出前授業（八代市と共催）

ごみ減量に伴う八代市の資源物22分別の指導を市内の教育関係依頼で派遣授業を行っている。近年は海流による太平洋ごみベルト、マイクロプラスチック問題などもその授業のプログラムに入れている。



第8弾企画 「食育活動」の推進

生ごみ処理から始まった活動は、現在公立保育園での食育活動に広がっている。生ごみ処理箱の提供は、八代市内以外、県外の利用者も増え、1年間平均生ごみ処理は約36トンにもなる。また、教育関連に「食品ロス」の出前授業も行っている。

第9弾企画 環境に対する講演会、ワークショップの開催

国土交通省、環境省、九州大学、熊本大学他多数の教育関連、熊本県、八代市環境課などと共同体制で年間を通じ、環境保全活動や啓発の内容で企画運営を実施。

第10弾企画 青少年に向けたチーム

「エコユースやつしる」を2021年7月発足。

目的は、「水」「環境」をキーワードにした地域体験活動を経験し、世界に地域の良さを発信できる人材を育てるための体験型活動。また、世界情報発信できるように、外国のユースと繋いで情報交換会もしている。

第11弾企画 「青少年水サミット八代」の開催

新型コロナウイルスの影響下、オンラインによる日本各地の講師を招聘し、講演会・討論会を開催している。年々、青少年や日本各地から世界までユース参加者も増加している。

以上、当会の名前のごとく、「次世代のために」という思いを持つ青少年を育て、彼らがまた「その次の世代」を引っ張っていくことのできるように育てたいと切に思います。そして、これからも「次世代のために」地域をつなげて頑張っていきたいと思っております。

▶次世代のためにがんばろう会
詳細は会のHPをご覧ください <http://www.ganbarokai.net/>



次世代のためにがんばろ会【受賞・表彰歴】

- ★コココーラ環境教育賞受賞(平成14年)
- ★肥後の水資源愛護賞(平成16年)
- ★肥後の水資源愛護賞 特別賞(平成18年)
- ★「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞」(代表者)受賞(平成18年)
- ★くまもと環境賞(平成19年)
- ★環境大臣賞(環境賞主催):地域環境保全功労者賞(平成20年)
- ★「K A B水と森を守るためにボクらが今できること」優良賞受賞(平成21年)
- ★くまもとストップ温暖化大賞審査員特別賞 (平成23年10月)
- ★ECO JAPAN CUP「市民が創る環境のまち“元気大賞2011”」(平成24年2月)
- ★平成24年度河川整備助成事業優秀賞(平成24年10月)
- ★(公財)あしたの日本を創る協会「あしたのまち・くらしづくり活動賞・振興奨励賞」(平成24年)
- ★国土交通省九州河川事務所長賞(平成25年7月)
- ★第1回くまもと環境大賞受賞(平成25年12月)
- ★小さな親切運動(平成26年)
- ★アレックディクソン賞(ボランティアの神:成26年)
- ★河川管理財団平成25年・26年・27年・28年・29年・令和1年・2年・3年・4年度活動優秀賞
- ★くまもと里モン賞 個別活動部門(平成26年度)
- ★日本ユネスコ協会連盟「熊本県ユネスコ協会会員」登録:感謝状(平成27年)
- ★日本水大賞特別賞受賞(平成28年)
- ★国土交通省九州地方整備局感謝状授与(令和元年)
- ★熊本県「熊本環境教育賞」「熊本環境継続賞」受賞(令和2年)
- ★地方整備局主催海岸功労者海岸愛護賞 (都道府県4団体受賞)(令和2年)
- ★肥後の水とみどりの愛護賞継続賞 (令和3年)
- ★国土交通省大臣賞 水資源功績者表彰 (令和3年)
- ★2022年度 持続可能な社会づくり活動(ESD活動賞)表彰 (2022年11月)
- ★2023年度 河川功労者賞 (日本河川協会)
- ★2023年度 川づくり団体部門 優秀成果表彰(河川財団)



団体指定・登録

- 1)国土交通省「河川法第58条の8第1項の規定による河川協力団体指定」/平成26年3月31日
- 2)「熊本県ユネスコ協会の会員」登録/平成26年4月1日



2023年度 河川功労者賞(日本河川協会)



くまもと環境大賞 大賞など(熊本県)

主催/次世代のためにがんばろ会(代表:松浦ゆかり)
<https://www.ganbarokai.net/>
 E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081
 後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、
 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されています



次世代のために
 がんばろ会

